令和4年度　洛友会東京支部総会

令和4年6月26日（日）
於　学士会館／Web 会議

議事次第

- 開会の辞
- 支部長挨拶
- [第一号議案]　令和3年度行事・活動報告
- [第二号議案]　令和3年度決算報告および監査報告
- [第三号議案]　令和4年度の役員／評議員／幹事
- 支部長退任の挨拶
  （役員交代）
- 新支部長挨拶
- [第四号議案]　令和4年度行事・活動計画
- [第五号議案]　令和4年度予算計画
- [第六号議案]　米寿・喜寿のお祝い
- 閉会の辞

付録1：洛友会東京支部会則【令和元年6月30日改正】

洛友会東京支部ホームページ　http://www.rakuyukai.org/tokyo
洛友会東京支部メールアドレス　webmaster@rakuyukai.org

（ご参考）
京都大学アラムナイホームページ http://www.alumni.kyoto-u.ac.jp/

1.　令和3年度行事・活動報告

1．1　支部総会，講演会，懇親会

令和3年6月28日（日）、東京支部総会、講演会を学士会館にて開催しました。本年は昨年より続く新型コロナウィルスの流行状況を鑑み、昨年度秋の講演会で試みた①現地参加と②Microsoft 社 Temas によるオンライン参加とのハイブリッド形態での実施することとなりました。

当日の現地参加は 11 名、オンライン参加は 19 名で、議案についての意見を交わすことができ、盛会となりました。

【支部総会】

支部総会は午後2時より司会の日比野総務幹事から web 会議進行方法について案内した後、伊藤支部長による開会挨拶で始まりました。

まず、日比野総務幹事より令和2年度行事・活動報告、佐々木会計幹事より決算報告が実施されました。活動報告では、昨年一年を通して新型コロナウィルスの影響下で、Web 会議を駆使しての支部総会、及び現地と Web のハイブリッドで開催した秋の講演会がある一方で、春の見学会、趣味の会、拡大クラスなどの多くのイベントが中止となったことが報告されました。決算報告では、会計監査の結果、収支状況が適切と判断された旨が報告され、承認されました。

次に、令和3年度役員として、支部長　尾上誠蔵（S55）、副支部長 北條　博史(S56)、監事 平山明(S57)、総務幹事　佐々木純(H14)、会計幹事 南川敦宣(H15)、庶務幹事 増崎隆彦(H13)、若手交流会幹事 日比野勉(H13)の就任が承認されました。その後、伊藤前支部長から退任のご挨拶、尾上新支部長から就任のご挨拶がありました。

伊藤前支部長からは、昨年 1 年通して見舞われたコロナ禍で起きた生活態様の変化にふれ、オンラインでのイベント開催等の良い面を今後も継続して取り入れつつも、見学会や趣味の会といった直接対面での交流が人生を豊かにする上で重要であることなど、with コロナでの同窓会の在り方についての考えを、今後への期待とともに述べられました。

尾上新支部長からは、先行き不透明な状況下においても、オンラインと現地のハイブリッド形式でのイベント開催等で同窓会を進化させていきたいこと、また若手の参画を引き続き促進していくことなど、今後の抱負として述べられました。

続いて、令和3年度行事・活動計画と予算計画について佐々木新総務幹事より説明がありました。計画説明の中では、秋の講演会については、昨年同様参加人数を絞った集合形式と Web 配信のハイブリッド形式で開催予定であること、見学会他、現地開催については感染拡大状況を踏まえ、実施方法も含めて検討中であること、その他の活動計画についても登録会員数向上施策、若手活性化施策、支出削減策に継続して取り組むこと、また趣味の会・拡大クラス会のオンライン開催支援にもふれられ、承認されました。

最後に、令和3年度に米寿を迎えられた伊藤　貞男様(昭和 32 年卒)、安原　碩人様(昭和 33 年卒)、喜寿を迎えられた浜口 友一 様（昭和 42 年卒）、山本 武様（昭和 43 年卒）のお名前が紹介され、拍手とともに会議参加者より祝意が評されました。現地参加された伊藤 貞男様より代表として一言挨拶を頂きました。

伊藤前支部長

尾上新支部長

【講演会】

講演会では京都大学名誉教授の守倉 正博様より「WiFi の進化と今後」と題して 1 時間ご講演いただきました。

講演冒頭では昨年の新型コロナウィルス発生以降に起きた社会変化について通信トラフィックの観点からふれ、リモートワークや遠隔会議の普及といった with コロナ時代の新たな生活態様に通信技術の発展が寄与していること、一方で意思疎通の難しさの面ではまだ技術改善の余地があることを述べられました。

次に研究を開始された 1997 年当時の WiFi の使い勝手の悪さから、移動体セルラーと区別して自律分散型 NW として進化してきた歴史的背景を説明されました。また当時から国際標準化活動に関わられた経験の中で、Apple や Boeing といった海外企業が 20 年前から無線 LAN の使い方を提案しており標準化組織に強く要望を出していたことにふれ、技術の良さだけでなく、それを使って社会をどう変えていくかといった政策面まで反映していく海外企業の姿勢を、日本企業も学んでいかなければいけないと述べられました。

その後の標準化活動の変遷の中で、現在は Huawei が圧倒的に人を出しており、昔は欧米中心だった業界の力関係が 20 年で大きく変化してきたこともふれ、日本も世界に遅れることなく IEEE や WiFi Alliance といった標準化団体に人を出していくこと、そのための人材育成の重要性を訴えました。

最後に 5G/Beyond 5 G 時代における WiFi に求められることとして、自律分散で低コストであるメリットを生かして、今後のインフラを支え進化し続けることを述べて講演を終えられました。講演後は現地の参加者から質問が寄せられ、予定時間を超える活発な質疑応答の後に閉会となりました。

現地会場

守倉名誉教授

講演会

［報告］ 会計幹事 南川 敦宣（H15 年卒）

1．2　秋の講演会

令和3年度は新型コロナウィルスの影響により講演会の実施は断念致しました。

［報告］ 総務幹事 佐々木 純（H14 年卒）

1．3　見学会

令和3年度は新型コロナウィルスの影響により見学会の実施は断念致しました。

［報告］　総務幹事　佐々木　純（H14 年卒）

1．4　若手交流会

令和元年度から企画・開催された院卒1年目を対象とした歓迎会ですが、新型コロナウィルスの感染拡大防止の観点から令和2年度に続き令和3年度も中止といたしました。

［報告］ 若手交流会幹事　日比野　勉（H13 卒）

1．5　趣味の会

名称	令和2年度幹事
囲碁会	向井　利典（S41卒）、喜多村　滋(S36卒)
麻雀会	舩山　眞弘氏（S39修卒）
ゴルフ会	古澤　久具氏（S35卒）、山澤　穣氏（S38卒）、田崎　信氏（S44卒）
洛謡会	村上　薫氏 （S36卒）
テニス会	山内　英樹氏（S44卒）、田中　喜男氏（S44卒）、成松　洋氏（S46卒）

入会のご希望、またはお問い合わせがございましたら、以下のアドレスにメールをご送付ください。

- ・囲碁会　igo@rakuyukai.org
- ・麻雀会　mahjong@rakuyukai.org
- ・ゴルフ会 golf@rakuyukai.org
- ・洛謡会　utai@rakuyukai.org （宝生流、観世流の謡会）
- ・テニス会 tennis@rakuyukai.org

●囲碁会活動報告

幹事　向井　利典（S41卒）、喜多村　滋(S36卒)

残念ながら、令和3年度も新型コロナの影響により囲碁会の活動ができませんでした。
令和4年度の囲碁会幹事は前年と同じです。

以上

●麻雀会活動報告

幹事　　舩山　眞弘（S39修卒）

新型コロナの影響でまったく活動できませんでした。
令和4年度の幹事は変更ありません。

以上

●ゴルフ会活動報告

幹事　古澤　久具（S35卒）、山澤　穣（S38卒）、田崎　信（S44卒）

趣味の会「ゴルフ愛好会」は毎年2回春、秋にコンペを行っていますが、令和3年度はコロナ蔓延の情況の為、残念ですが2回とも中止しました。
令和4年度の幹事は従来通り山澤氏、田崎氏、古澤の3人で務めています。

以上

●洛謡会活動報告

幹事　村上 薫（S36卒）

新型コロナ感染症の影響で会場にしておりました目黒勤労会館では、声を出す催しは禁止されましたので令和元年 11 月の謡会を最後に 2 年間中断しておりました。昨年秋に漸くコロナ感染症も弱まり会場を使用できることになりましたので令和 4 年 1 月に 2 年振りに再開し、2 度の謡会を実施しました。

①第 165 回洛謡会 令和 4 円 1 月 29 日(土) 於目黒区勤労福祉会館
曲目 宝生流「田村」「忠度」 観世流「胡蝶」「船橋」
②第 166 回洛謡会 令和 4 年 3 月 29 日(火) 於目黒区勤労福祉会館
曲目 宝生流「三井寺」「野守」 観世流「邯鄲」「采女」

以上

●テニス会活動報告

幹事　山内　英樹（S44 卒）、田中　喜男（S44 卒）、成松　洋（S46 卒）（文責）

洛友会東京支部テニス会は、開始より約半世紀の伝統を持っています。昭和 50 年代初頭からほぼ毎月 1 回の頻度で 週末あるいは祝祭日での例会を実施してきました。しかしながら、令和 2 年度に続いて令和 3 年度においても新型コロナの影響で、例会を開催している会場が閉鎖される期間がありました。この影響が大きく、通常年度のこの目標（年間約 12 回）には及ばない開催結果となりましたが、それでも開催可能だった期間においては、多くの皆さんが参加されて、テニスを楽しみました。

この通常の活動拠点は、東京インター（用賀）近くにある、砧公園や NHK 技術研究所に隣接の大蔵第二運動場です。毎回、テニスコート 1 面を 2 時間確保して、ダブルスのゲームを楽しんでいます。最近新規に参加された会員も増えて、賑やかにプレーをすることができました。令和 4 年度には、この勢いが継続できることを願っています。関東圏に居住の広範囲の会員諸氏が参加されています。

これからも楽しくテニス会を継続して会員諸氏の健康維持に貢献していきたいと願っています。少しでも体を動かすことに興味をお持ちの皆様、初心者の方も大歓迎ですし勿論腕に自信のある方も、ぜひ幹事までご一報くださるよう、お待ちしています。

回	開催予定／実施日			参加人数	開催場所
1	令和 3 年	5 月 3 日	（月祝）	新型コロナ中止	世田谷区大蔵第二運動場
2		6 月 5 日	（日）	7 名	世田谷区大蔵第二運動場
3		9 月 12 日	（日）	8 名	世田谷区大蔵第二運動場
4		12 月 4 日	（日）	7 名	世田谷区大蔵第二運動場
5	令和 4 年	2 月 6 日	（日）	7 名	世田谷区大蔵第二運動場
6		2 月 11 日	（金祝）	降雪中止	世田谷区大蔵第二運動場
7		3 月 20 日	（日）	7 名	世田谷区大蔵第二運動場

令和4年度の幹事は、昨年度までの幹事3名が継続担当致します。

以上

1．6 拡大クラス会

名称	令和2年度 幹事
京極会[S35～S39卒]	横山 常昭(S38)、片山 信昌(S38)
洛粋会[S40～S44卒]	浜口 友一(S42)
洛談会[S45～S49卒]	成宮 憲一(S49)、逢坂 福信(S45)
洛笑会[S50～S54卒]	伊藤 八大(S54)
喜洛会[S55～S59卒]	北條 博史(S56)
洛泡会[S60～H1卒]	中村 眞(正、S61)、大矢 智之(副、S62)
洛成会[H2～H6卒]	中原 智勇(H2)
百万遍会[H7～H11卒]	山本 輝哉(H10)
名称未決定[H12～H16卒](新規)	増崎 隆彦(H13)

●京極会[S35～S39卒]

幹事 榊 博史(S35)

令和3年度は京極会拡大クラス会を開催しませんでした。
令和4年度の幹事は榊 博史が留任いたします。

以上

●洛粋会[S40～S44卒]

幹事 浜口 友一(S42)

令和3年度は活動ありませんでした。
令和4年度の幹事は変更ありません。

以上

●洛談会[S45～S49卒]

幹事 成宮 憲一(S49)

令和3年度は活動ありませんでした。令和4年度の幹事は成宮 1 人でお願いします。

以上

●洛笑会[S50～S54卒]

幹事 伊藤 八大(S54)

2021 年度も活動無しでした。
2022 年度は、たぶん後半になると思いますが、何とか活動再開したいと考えています。

以上

●喜洛会[S55～S59卒]

幹事 北條 博史(S56)

令和 3 年度は活動無しでした。
今年こそは活動を実施したいと考えています。

以上

●洛泡会[S60～H1卒]

幹事 中村 眞(正、S61)、大矢 智之(副、S62)

令和 3 年 7 月 2 日にオンライン形式でクラス会を開催しました。オンライン懇親会向けフードデリバリー

サービスの利用や、個人間オンライン送金サービスでの会費精算なども取り入れてみました。クラス会の模様は、洛友会第 274 号会報の S61 藤本会員の寄稿の中でも触れて頂きましたのでご覧ください。

令和 4 年度の幹事は大矢智之(S62)、水本政宏(S63)の二名で行います。

以上

●洛成会[H2～H6卒]

幹事　中原　智勇 (H2)

落成会については、新型コロナの影響で開催しませんでした。
令和4年度の幹事は変更ありません。

以上

●百万遍会[H7～H11卒]

幹事　山本　輝哉(H10)

新型コロナの影響で開催できませんでした。
令和 4 年度の幹事は変更ありません。

以上

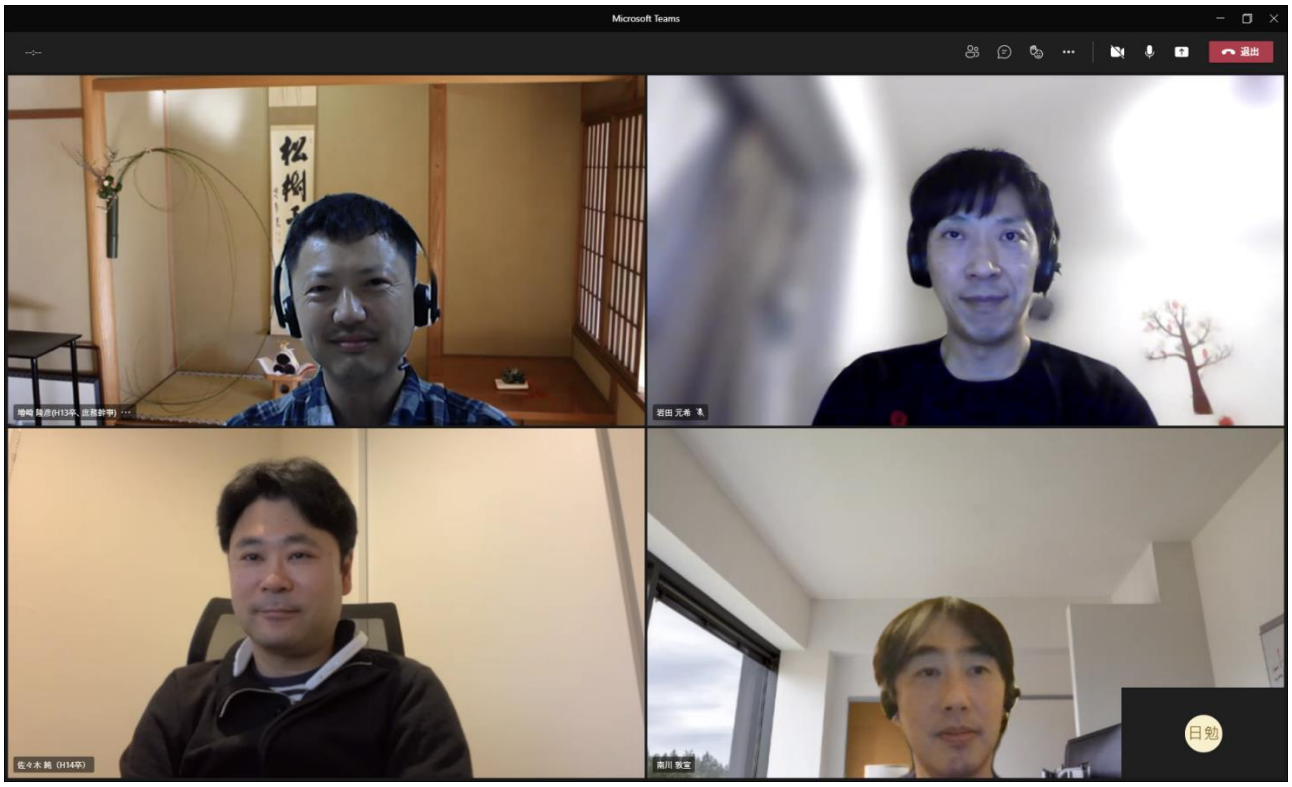
●名称未決定[H12～H16卒](新規)

幹事　増崎　隆彦(H13)

コロナ禍で対面での交流が難しいことから、有志でオンラインの作戦会議を行いました(令和 4 年(2022 年)3 月 21 日 21:00～22:00)。

少人数ながら対象の全学年からの参画があり、参加者は6名となりました。このオンライン会議は、総会や幹事会で使用している Teams の Rakuyukai チーム上で Teams 会議を設定することで行いました(Rakuyukai チームを活用すると簡単にオンライン会議が開催できますのでお勧めです。もちろん他の拡大クラス会や趣味の会でも活用可能です)。

この会議では、簡単に自己紹介をした上で、本拡大クラス会の名称を決めるために各自で案を考えておくこと、コロナが落ち着いたら対面の交流をする方向で調整することなどを確認しました。また、会計幹事等の幹事を担う世代でもあることから、令和 5 年度の会計幹事、庶務幹事の打診についても意見交換しました。



1．7　幹事会

日時：　令和3年5月16日　13:30～15:00
場所：　Web 会議
議題：

1．　令和2年度行事・活動報告
　　各幹事から活動報告がされました。見学会、若手交流会、趣味の会や拡大クラス会等の多くのイベントがコロナウィルス流行の影響により中止となった旨が共有されました。

2．　令和2年度決算報告
　　佐々木会計幹事からの決算報告、北條監事からの監査報告があり、決算内容が承認されました。

3．　令和3年度役員／評議員／幹事
　　日比野総務幹事より説明があり、次期役員／評議員／幹事が承認されました。

4．　令和3年度行事・活動計画
　　日比野総務幹事から、新型コロナウィルスの感染拡大に留意しつつ、可能な限り例年通りの活動をする計画であることが説明され、行事・活動内容が承認されました。

5．　令和3年度予算計画
　　佐々木会計幹事から計画が説明され、承認されました。

1．8　京都大学同窓会東京支部連絡会

　例年、在京の同窓会で開催されていた連絡会議および交流会ですが、新型コロナウィルスの影響を受け、リモートによる幹事会のみが2回開催されました。

【令和3年4月幹事会】
日時：　令和3年4月26日　18:00～19:00
場所：　Zoom 会議
　今年度は、Zoom 会議を利用し、今後の幹事会の運営について議論しました。
　京大同窓会東京支部連絡会の講演会について、講演者は湊長博 総長を候補として調整を進めることに決定しました。開催時期は、完全オンライン形式であれば 6 月頃、東京支部の秋の講演会のようなハイブリッド形式であれば 9 月頃が良いという結論になりました。
　次期代表幹事について、過去に議論したルールにのっとり工学部より選出するため、京土会（土木）、京機会（機械）、洛友会（電気系）で相談し、9 月ぐらいまでに選出することを決定しました。

【令和3年11月幹事会】
日時：　令和3年11月22日　18:00～19:00
場所：　Zoom 会議
　今後の幹事会の運営について、次期代表幹事の決定がアジェンダでしたが、基本的な議論に時間がとられ、京土会（土木）、京機会（機械）、洛友会（電気系）から選ぶ決定は先送りとなりました。

［報告］　尾上支部長（S55）

１．９　課題への取り組み報告

（1）登録会員（連絡先が把握できている会員）数向上について

まずは、会員に各種情報を届けるためのメールアドレスの把握・現行化のため、以下の取り組みを実施しました。

① 機会あるごとに、洛友会 HP における会員情報変更手順を記載することで、連絡先の現行化を依頼。

② 令和元年度より計画している 9 つ目の拡大クラス会(H12～H16 卒)ですが、第1回会議をオンラインで開催致しました。今後は新型コロナウィルスの状況に応じて本格的な活動開始を目指します。

今後も支部役員・学年幹事・拡大クラス会幹事が連携し、当会との関係が疎遠になりがちな（特に、若手）会員に対し、当支部主催のイベントはもちろんのこと、京都大学全学同窓会等が開催する各種イベントの案内等をより多くの会員に届けることとします。

（2）若手活性化施策について

卒業して間もない若手会員に、洛友会東京支部の存在そのもの、そして、その活動を認識してもらうため、東京支部エリアに就職した院卒 1 年目(H31 学部卒)を対象とした歓迎会ですが、本年度は新型コロナウィルスの影響で開催できませんでした。

（3）全学同窓会活動について

例年、東京支部連絡会議に参加し、全学同窓会活動との連携をはかっておりますが、令和３年度は新型コロナウィルスの影響で開催されませんでした。

（4）支出削減について

令和3年度は、複数のイベントを中止したり規模縮小して開催したりしたため、収支が大幅に改善しました。収支改善は一時的なものですので、支出が過去数年の平均収入と同程度となることを目標とした下記の支出削減施策は継続して実施します。

・総会を除く支部イベントの案内は電子メールのみとする。

・片道ハガキ送付による総会の案内は、支部長より上の年次のみを対象とする。

１．１０　洛友会会報への寄稿

今年度は、東京支部からは下記の皆様に洛友会会報へご寄稿いただきました。

第 274 号(2021 年 10 月)　巻頭言「これまで、これから」 伊藤 八大 様（S54 卒、前東京支部長）

第 274 号(2021 年 10 月)　会員寄稿「朋ありリモートで来る、また楽しからずや」 藤本 昌彦 様（S61 卒）

第 276 号(2022 年 4 月)　会員寄稿「国際剣道連盟への道のり（1／2）」 高森　毅 様（S57 卒）